

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスまはろ桜木町

公表日

令和7年12月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		指導室が3部屋、外庭もあり、それぞれの利用者様が自分に合った環境を選択できるようになっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		職員の配置数は規定数より多く配置できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		療育室内に段差がなく過ごしやすいと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		週間清掃の内容を適宜話し合い見直している。外観については、適宜除草等々を行い環境美化に力を入れている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別で過ごせる部屋は、部屋の外からでも児童の様子が確認できる仕様になっており、安心安全に過ごすことができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		業務の属人化を防ぐため、特定の人に仕事が偏らないよう、さまざまな業務に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		体制や実施時期の調整が必要なため、現時点では外部評価は行っていないですが、今後の導入を検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		ハラスメントなどの研修が定期的にあるところでは工夫していると思う点です。職員が受ける研修の機会が豊富にある。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		児発管だけでなくスタッフ全員で利用者さんについて話し合う機会があります。また、おやつバイキングやおやつ時間に好きなものを選ぶなど、定期的に自己決定できる機会があります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		職員間で、連絡ノートやミーティングなど様々な方法を活用し、こまめな情報共有を行っています。そのことで、利用者一人ひとりの特性や状況について共通理解を持てるよう工夫しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		特定の児童に対して特定の職員の支援が偏らないよう、複数の職員が満遍なく様々な児童に関わる体制を整え、支援の質を一定に保つよう努めています。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ミーティングなどの時間以外にも、気軽に職員間で報連相できる雰囲気がある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々、個々の支援活動の擦り合わせを職員間で行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子どもの自己決定力を深める手伝いに力を入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		関係機関や保護者との連携においては、日々の連絡や面談、電話等を通じて、利用者の様子や支援内容を丁寧に共有するよう工夫していると感じます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校と利用者さんについての情報を共有したり、下校時刻について確認をしているところは工夫していると思う点です。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		時間がある場合は、外での活動をするようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者の思いや不安を受け止めたうえで対応する姿勢があり、信頼関係の構築を大切にしている点が良い点だと思います。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	家族支援プログラムや家族等の参加できる研修等は需要がありませんため行っていません	家庭ごとの状況やニーズを考慮し、現時点では一律の家族支援プログラム等は実施していませんが、今後の検討課題としています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者の意向や家庭での様子を丁寧に聞き取り、支援内容に反映させようとする姿勢が職員間で共有されている点も工夫されていると感じます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		保護者ごとに求める関わり方が異なるため、一律の交流は行わず、より柔軟な関わり方を検討しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者に向けた活動報告は日々行っている。	日々の様子について、良いことのみ報告する事が多く、他害やトラブルなどの不適切な行動をお伝えする機会が少ない
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎日ブログやインスタなどで活動の様子を発信しているところは工夫していると思う点です。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		日々の支援内容や利用時の様子について、hugや口頭でこまめに保護者へ伝えるよう心がけており、些細な変化についても共有する体制が整っている点です。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		安全面や運営体制を考慮し、現時点では地域住民を招いた行事は実施していませんが、今後の検討課題としています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		災害や急病、事故等の非常時に備え、マニュアルの整備や定期的な訓練を行い、職員が共通認識を持てるよう工夫されています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		日頃から利用者一人ひとりの特性や配慮点を職員間で共有しているため、非常時においても落ち着いた対応を心がけており、保護者の安心につながっていると感じます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーに関しては、おやつの際にお皿を違うものにしたり、プレートを用意したり、一覧表と個別のカードを活用して事故防止に努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		保護者様にも確認していただけるよう、緊急時に「どの職員が何を担当するか」を分かりやすく掲示しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		外部の虐待防止研修を受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			